

令和5年度シティプロモーション推進室の重点テーマについて

1 令和5年度の重点テーマ

シティプロモーションの全庁化

2 目的

吹田市は、暮らしにおける様々な場面がバランス良く揃っていることが特徴である。各所管で行っている取組を吹田市の魅力として、市民へPRしていくことで、市民に市への愛着や誇りが醸成されることを目的とする。

3 シティプロモーション推進室の役割

吹田市シティプロモーションビジョンのコンセプトに基づき、庁内の取組に統一感を持たせるコーディネーター。

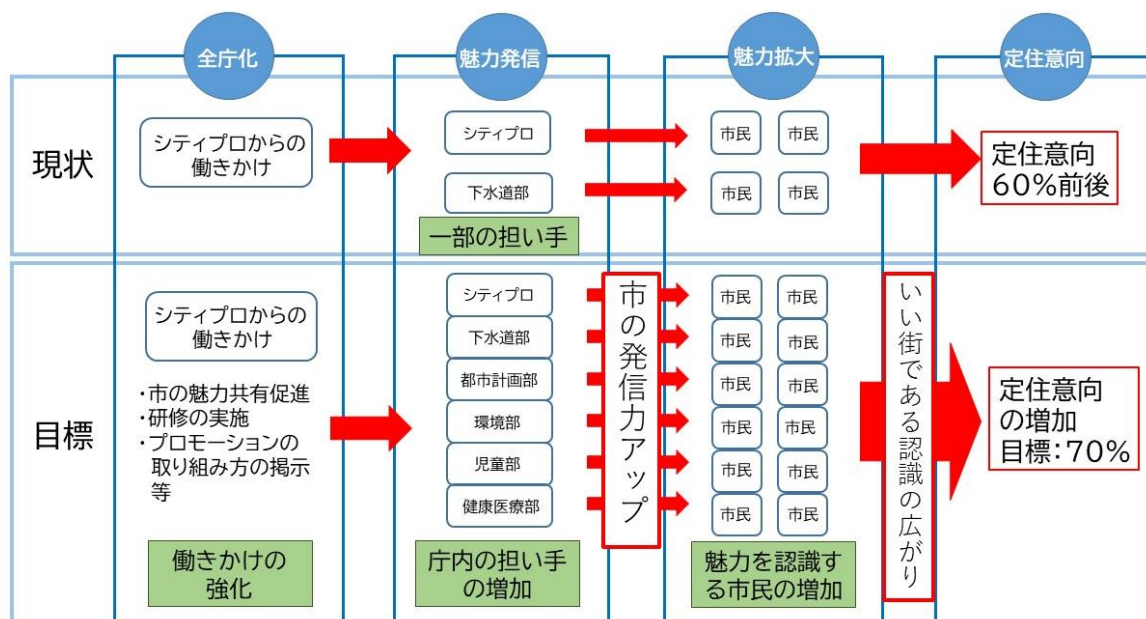
シティプロモーション及びシティプロモーション推進室の取組との接触回数を増やすことで、シティプロモーションを意識する機会を増やし、浸透させていく。

4 シティプロモーションの全庁化を重点テーマとした理由

昨年度の会議の意見で、市民向けの発信・巻き込みはもちろん必要であるが、各部署に向けた働きかけ、巻き込みも必要であることを改めて認識。

市の魅力は多方面にわたっている。各部署が、自身が進める施策が市の魅力を形作るものだと意識し、施策対象に対してよりしっかりと伝える工夫をしていくことで、市の魅力を広めていくことに繋がる。

「シティプロモーションの全庁化のフロー図（イメージ）」



5 令和4年度までの具体的な取組

別紙1のとおり

6 令和5年度の取組（案）

| | 項目 | 狙い | 取組内容 |
|---|----------------|--------------------------|---|
| 1 | ターゲットを絞った研修の実施 | 市全体のシティプロモーションの強化を図るため。 | プロモーションに関する課題感を持っている室課を中心として、ワーク等を盛り込んだ、個別課題に沿った各論について議論できるような研修を検討中。 |
| 2 | 方針1 | SNS やプレスリリースの活用促進 | 市でもつ公式 SNS やプレスリリースなどの発信媒体をその特徴を活かして、事業に合わせた効果的な PR を促す。 |
| 3 | | アンケートの定期実施 | 市の魅力を把握するアンケートを定期的実施。その結果を共有し、職員に市民意見を得る機会を提供する。また、市職員にもアンケート回答を依頼し、職員自身も市の魅力を考えるきっかけを作る。 |
| 4 | 強みを伸ばす | アドバイザー会議への参加 | 他室のシティプロモーションに資する取組のブラッシュアップ及び評価の機会を提供し、さらなる取組を推進する。 |
| 5 | | 好事例の紹介 | 他室のシティプロモーションに資する取組の好事例を全庁に共有する機会を作り、他部の取組を促進するため。 |
| 6 | 方針2 | 大学との連携につながらる周知活動、相談活動の実施 | 大学との連携への意識向上ときっかけづくり。実際の連携につながらる後押し。 |
| | 多様な連携 | | 全庁に年度中4回、各大学との連携希望を照会。大学に意向を伝える。 各室課及び大学からの連携相談について、随時受け付ける旨を周知、対応する。 |